

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七七二
毎週一回発行

トヨタ すすむ金融化、増える内部留保 第34回トヨタシンポジウム開催される

11月23日、第34回トヨタシンポジウムが、名古屋市の労働会館で開かれました。

基本講演は、政治経済研究所の佐々木憲昭主任研究員（元日本共産党衆院議員）が、「グロ

ーバル経済のなかで企業の社会的責任をどう果たさせるか」と題して話しました。

左の表は、2008年3月期と18年3月期の決算を、有価証券報告書をもとに作成した

すすむトヨタ自動車の金融化と内部留保の増加（連結会計）

区分	2008/3 単位100万円	2018/3 単位100万円	10年の 伸び率
(資産の部)			
流動資産			
現金および現金同等物	1,628,547	3,052,269	1.87
定期預金	134,773	901,244	6.69
有価証券	542,210	1,768,360	3.26
小計	2,305,530	5,721,873	2.48
投資及びその他の資産			
投資有価証券	3,429,238	7,999,323	2.33
有形固定資産	7,812,002	10,267,673	1.31
(資本の部)			
資本剰余金	497,569	487,502	0.98
利益剰余金	12,408,550	19,473,464	1.57
小計	12,906,119	19,960,966	1.55
(損益計算)			
売上高	26,289,240	29,379,510	1.12
営業利益	2,270,375	2,399,862	1.06
法人税等	911,495	504,406	0.55
(従業員数)			
正規 (人)	316,121	369,124	1.17
非正規	87,597	84,731	0.97
小計	403,718	453,855	1.12
(平均賃金)			
トヨタ自動車本社	8,295,000	8,319,473	1.00

※ 有価証券報告書により作成。

※ 有形固定資産は原価償却控除後

内部留保の大きな部分を占める利益剰余金は、08年の12兆円余から18年の19兆円余と1・57倍のハイペースです。日本の大企業で、トヨタは内部留保NO1ですが、2位の三菱UFJの倍近くもため込んでいます。注目したいのは、「法人税等」です。08年は911億444円余でしたが、08年は504億406円余と55%程度に

もので、佐々木氏が講演の中で示したものです。

売上高、営業利益の伸びに対し、現金と現金同等物は1・87倍、定期預金は6・69倍、有価証券は3・26倍、投資有価証券は2・33倍と大きく伸びています。

佐々木氏は、日本の大企業のグローバル化は、最初は輸出で、次は生産の海外移転で、さらに金融化という3段階で利益を上げ続けてきた、と分析しましたが、それを裏付けるデータです。

激減していることです。これは、歴代自民党政権が法人税減税（1980年代半ばの43・3%から2010年代半ばの23・4%）を引き下げたことや研究開発減税など様々な大企業優遇税制によるものです。2兆円〜3兆円近くという

日本の大企業で突出したばく大な利益をあげ続けてきたトヨタが、大幅に減税の恩恵を受ける――アベノミクスで貧困と格差が広がるなか、大企業優先の政治にメスを入れる必要があります。（ブログ「トヨタで生きる」より）

豊な財政力を、くらしに 愛知県知事選にくれまつ氏決意



支援者から激励を受けるくれまつ氏(右)

愛知県の「革新県政の会」(日本共産党も参加)は、11月22日、臨時総会を名古屋市内で開き、来年1月17日に告示される県知事選挙(2月3日投票)で、愛知県労働組合総連合(愛労連)の、くれまつ佐一議長(62)の擁立を決定しまし

決意表明に立った、くれまつ氏は「愛知県の財政力は全国2位。豊かな財政を大型開発や大企業支援に使い、県立学校の校舎や県営住宅はボロボロ。県の子どもの医療費助成も義務教育就学前(通院)に留まっている。予算の使い方を変える必要がある」と強調。「医療・介護、福祉政策の充実、若者や中小企業を支援する県政に、みなさんと力を合わせ変えます」と述べました。

知事選にはくれまつ氏のほか、現職の大村秀章氏(58)が立候補を表明しています。

樽松氏の略歴 名古屋大学理学部卒業、名古屋勤労市民生協(現・コープあいち)職員。名勤生協労組委員長、愛労連事務局長などを経て、現在愛労連議長。

豊田革新懇 結成20周年記念講演会 共闘こそ政治を変える道

豊田革新懇が結成20周年を記念して11月18日、五十嵐仁氏（全国革新懇代表世話人）を招いての講演会を開催しました。演題は「共闘こそ政治を変える道」として、講演の冒頭で、五十嵐氏は「世界的大企業トヨタ城下町に革新懇が20年も前から存在し、活動していた。このことが全国を励まし、勇気づける。豊田革新懇の名前で、全国に発信してほしい。」と激励し、会場から拍手が起りました。

安倍首相の改憲について、五十嵐氏は、憲法の3大理念を守らない「壊憲」であり、多数の合意のない改憲は許されないこと、消費税増税、辺野古基地問題にも触れながら、市民と野党の共闘で、安倍退陣に追い込むことはできると明確に述べました。ユーモアいっぱいの話に、会場からたびたび笑い声が上がりました。60名が参加し、参加者から「わかりやすい話で、大変勇気が出た」と感想が寄せられました。

12月定例市議会が始まります

豊田市議会12月定例市議会が開催されます。会期は、12月7日から25日までの予定。（全日程の傍聴可能）7日の開会日には、議案の上程説明が行われます。議員による一般質問は、10日から12日。議案審査する5つの常任委員会は、13日から19日にかけて行われます。

日本共産党の大村・根本両市議は、一般質問や議案質疑を通じて、市民の声を市政に

- ◆7日（金）…開会
 - ◆10日（月）～12日（水）…一般質問…
 - ◆13日（木）～19日（水）…常任委員会…
 - …予算決算分科会…
 - ◆21日（金）…予算決算委員会
 - ◆25日（火）…採決・閉会
- 反映するために頑張ります。一般質問の予定は、次週の号でお知らせします。

トヨタ門前で共産党訴え

11月21日にトヨタ自動車の堤工場前で、日本共産党の定例宣伝が行われました。根本みはる市議と本多のぶひろ市議選予定候補、トヨタ元社員が訴えました。

今回は、日産自動車の会長だったゴーン容疑者について、人員削減をしておいて自分だけは10億円とも20億円とも言われる年額報酬があった、企業の社会的責任が問われている、と話しました。



日本共産党豊田市後援会が総会開催

日本共産党豊田市後援会は18日、市内で総会を開きました。（下写真）

もとむら伸子衆院議員からのメッセージが代読され、統一地方選の予定候補がいさつ。市政や県政のことについて学びつつ、地域ごとの後援会活動の取り組みを交流しました。

後援会の役員選定や予算・決算の確認も行われました。



**安倍政治許さない
スタンディング・署名行動**

安倍9条改憲NO市民アクション署名

12月3日(月) 午後1時～1時30分
市駅東側デッキ
(駅前ロータリー側)

主催：豊田革新懇